

# 放課後対策の総合的な推進について

平成26年5月28日

厚生労働大臣 田村 憲久

文部科学大臣 下村 博文

# 放課後対策の総合的な推進

- 共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後を安心・安全に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、総合的な放課後対策に取り組む

## 現状

- 共働き家庭などの児童に対し、**放課後に適切な遊び・生活の場を提供する放課後児童クラブを実施**  
平成25年には**約89万人が利用**  
\*登録児童数 平成19年:749,478人 → 平成25年:889,205人 / \*クラブ数 平成19年:16,685か所 → 平成25年:21,482か所
- また、平成19年から**放課後子どもプラン（放課後子供教室と放課後児童クラブを一体的に、又は連携して実施）**を開始したが、**十分に進んでいるとは言えない**

### ■ 放課後児童クラブを希望しても利用できなかった児童が存在

※平成19年:14,029人 / 平成25年:8,689人

### ■ 保育所と比べると開所時間が短い ※18時を超えて開所しているクラブ:約62%(平成25年) / 保育所:約85%(平成23年)

※平成26年度予算(保育緊急確保事業)に、長時間開所するクラブへの支援のための費用を計上

⇒ 就学児童の放課後の**安心・安全な居場所の整備**を進め、子どもが小学校に入学するとこれまで勤めてきた仕事を辞めざるを得ない状況(いわゆる「小1の壁」)を**打破**する必要



### ■ 次代を担う人材の育成の観点から、放課後における多様な体験・活動の機会の拡大が重要

⇒ 共働き家庭などの児童に限らず、全ての児童が**多様な体験・活動**を行うことができるようにする必要

## 小1の壁の打破

## 放課後対策の総合的な推進

## 次代を担う人材の育成

### ◇一体型を中心とした放課後児童クラブ・放課後子供教室の計画的な整備

- 一体型の放課後児童クラブ・放課後子供教室の強力な推進
- 放課後児童クラブの拡充
- 放課後子供教室の拡充

### ◇民間サービスを活用した多様なニーズへの対応

